

## 平成25年度第1回鳥取県日野地区連携・協議会（会議概要）

- 1 日 時 平成25年5月31日（金）午前11時40分～午後0時20分
- 2 場 所 日野町役場2階 大会議室
- 3 出席者 平井鳥取県知事、竹内江府町長（会長）、景山日野町長、増原日南町長  
ほか鳥取県及び日野郡3町関係職員

### 4 あいさつ（要旨）

【竹内会長】先般、第64回の植樹祭が鳥取県西部地区で実施されまして、天候に本当に恵まれて成功裏に終わりました。知事には大変お疲れさまでございました。

重点項目として日野郡の教育のあり方を新たに加えておりますが、3月に文部科学省からその状況を教えて欲しいということがありました。連携共同協議会で広域的な教育のあり方について議論するというのは、全国的にあまり例がないようでした。

25年度も重点項目を中心にしっかりと議論を進めて参りたいと思います。大きなステップというよりは、一歩でもきちんと前に進んで行こうということで考えております。

【平井知事】会長の方からお話ございましたけれども、第64回全国植樹祭がここ鳥取県西部で開催をされました。県内を今週いろいろ歩いていますと、植樹祭焼けだという方がけっこうおられまして、ちょっと暑すぎたようでございますが、本当に感謝を申し上げたいと思います。両陛下はもちろんですけども、全国から来られた方が、鳥取県の西部は非常に美しい自然に恵まれた良いところだということを感じ取って帰っていただけたと思います。

ぜひこの日野郡を日本の故郷として育てていきたいと思っております。地元の皆さんと協議をしながら、土木のことであるとか、あるいは農業のことであるとか、福祉のことであるとか、また機関の共同設置や、このたびは教育の課題についてもそれぞれ話し合いのジャンルを広げてきました。全国のどこにもない県と市町村とのコラボレーションでございまして、是非ともこの取り組みを成功させたいと思っております。町長をはじめ、各町の皆様のご活躍とそれぞれの発展をお祈り申し上げまして、私のほうからの挨拶に代えさせていただきます。

### 5 会議録署名委員の氏名

竹内会長が「鳥取県の平井知事」、「日野町の景山町長」2名を氏名

### 6 議 事

平成24年度事業報告書及び決算の承認、監査報告について ⇒ 承認  
事務局八幡事務長から資料により説明

### 7 報 告

平成25年度事業の実施状況について  
事務局八幡事務長から資料により説明

## 8 協議事項

- 重点項目「道路の維持管理・除雪」について
  - 重点項目「鳥獣被害対策・農地利用促進」について
  - 重点項目「監査委員事務局の共同設置」について
  - 重点項目「日野郡の教育のあり方」について
- 各部会長から資料により説明

## 9 意見概要

【増原町長】有害鳥獣について人材が懸念されるという話だが、先日、滋賀県で開催された全国の地域おこし協力隊に入って約3ヶ月の70名の集まりに参加した。その中で2人ほど、東北地方でマタギの継承という趣旨で入ったという人がいて、ある程度明確に出していけば人材としては集まるのではないかと。ただ問題は、地域おこし協力隊は3年間の事業なのでその3年間の中で、またその単年単年の中でどのような仕事があるのか。猟銃だけではなく例えば罟とか、智頭町等でやっているジビエ料理等の普及とか、そういうことも含めていけばトータルの仕事としてはあるかなという気はする。

【景山町長】今年度から、日野郡の教育のあり方について取り組んでいる。いままで教育というと単町で考えていたが、約2年前から日野高校のあり方を考える協議会を立ち上げ、日野高校に特化し、なんとか元気の出る高校にしていきたいと模索を始めている。県教委も積極的に協力してもらっている。そこに横たわるのは、日野郡の教育を受ける子供がどのくらいいるかということに行き着くわけで、是非その部分については、日野郡の教育のあり方の専門部会で議論をして、将来どうしたらいいのか、続けるとすれば子供の扱いをどうすればいいのか。出生、そのあたりに行き着いていくのではないかと考えている。日野高校だけでなく日野郡の教育というものを、3町で、県も入れて一緒に話して話し合いが出来ればと思う。

【平井知事】協議事項として出てきた課題はいずれも大切な課題であり、県も参画をして一緒にやっていきたい。道路の除雪の単価は、実際に担い手になるような業者さんとの話し合いを経て、冬に間に合うようにまとめていきたいと考えている。

鳥獣被害では、県内でも八頭郡などでまさに狩猟免許を取って、ジビエ料理も始めている若い人たちが出てきている。そういう意味では確かに需要があるように感じられ、こういう形で抱えるのは財源的にもリーズナブルかなと思う。ただ増原町長が言われたように、3年間の後どうするのかということもある。良い人だったら協議会で最終的に職員を抱えて負担金を出すということもあるかもしれない。

教育については、景山町長が言われたように、一番大きな問題として日野高校のことがある。今年の入学状況も非常に厳しく、学校として継続するには新しいビジョンがないとなかなか難しいかもしれないので、そういう意味で県の教育委員会もこのための事業を組んでいるが、フォーラムの開催自体が目的ではない。フォーラムをやって広く意見を聞くという場所を作ったり、専門的知見を集める場所を作るのも大切であるが、景山町長も言われたよう

に、学校として成り立たせるには地域としての応援も必要と思われる。教育委員会以外の応援なりタッグを組むような体制づくり、これは平行して議論していかないとタイミングよく噛み合っていないかもしれない。現在国の方で、教育のあり方を変えようという動きもあり、一層日野郡でまとまって新しいチャレンジするのはどうか。例えば、英語教育をパイオニア的にやるとか。県の教育委員会の中の英語スタッフだっているわけで、そこを繋げながらやっていくこともできるかもしれない。例えば、土曜日授業ということも前向きに考えていい時期かなと思うが、人材の問題もあるので、県の教育委員会も関係して3町まわしながらやるというものもあるかもしれない。それを日野高校、日野の一体性に繋げていくという考え方もあるのかなと思いついていたところ。是非、従来の殻を破るような教育のモデル地域を3町と一緒に考えていくことになれば。

【竹内会長】教育のあり方というと、組織の一本化とかそういう意識が出てしまうが、知事が言われたように、日野郡の子供、各町の子供をどのように育てていくかに特色のあることが目標。しっかり目標は定めながらお互いに意見を出して、連携してやっていくことだろうと思う。その上で日野高校についても、高等教育の中での位置づけられるのでは。